

箕面市立桜ヶ丘人権文化センター指定管理者候補者選定会議 議事概要

1. 会議の開催状況

- (1) 開催日時 令和元年(2019年)9月13日(金)午後1時から2時30分
- (2) 開催場所 箕面市役所 第三別館 2階会議室
- (3) 出席者 小林誠一(人権文化部長)【会長】
北村 清(総務部長)【副会長】
大橋修二(健康福祉部長)
柳原健治(公認会計士・税理士)
足立君子(有識者)
- (4) 事務局 人権文化部人権施策室長・山本、同室参事・寺島、村田

2. 議事概要

- (1) 当日スケジュール及び評価等について
事務局より下記のとおり説明を行った。
 - <当日スケジュール>
 - 1. 応募者によるプレゼンテーション(15分)
 - 2. ヒアリング(15分)
 - 3. 採点、集計
 - 4. 合議による選定
 - <採点方法>
応募書類及びプレゼンテーション、ヒアリングの内容を踏まえて採点する。評価者一人あたりの持ち点は300点とする。
- (2) 「リリーフ・みのお」の提案内容プレゼンテーションについて
応募者である「リリーフ・みのお」よりプレゼンテーションが行われた。
- (3) ヒアリングにおける主な質疑について
 - (質問) 昨年度の管理費で委託料が約630万円支出されているが、この内訳は何か。また、来年度から施設管理費が上がっているが、その理由は。
 - (回答) 昨年度の内訳は設備・警備等の再委託分である。従来、夜間受付は職員で対応してきたが、来年度から再委託予定のため増額になっている。
 - (質問) 今後の人件費見込額が昨年度実績を下回っている。今後は最低賃金も上昇する予定だが、どのように対応するのか。
 - (回答) 給与は経年と共に上昇するが、新旧職員の交代も考えており、最低賃金を下回らないよう計算している。
 - (質問) 事務監査体制はあるのか。
 - (回答) 決算報告は税理士のチェックを受けている。

- (質問) 職員のスキルについて有資格者が1人というのは少ないと思うが、他に今後の育成予定はあるか。
- (回答) 就労相談支援員を養成するほか、商工会議所の会計講座に参加予定。
- (質問) 苦情や要望の件数を知りたい。マニュアルはないとのことだが、どう対応されているか。
- (回答) ほとんど件数がないのだが、何かあれば館長と共有し、接遇等の見直しを図る。接遇対応については実践的な参考書を用意している。経年劣化している施設や設備への苦情はあるが、それはその都度、市と協議している。
- (質問) 貸室のことだが、センターは二つの老人会に大きく支えられている。ただ、老人会に入らない人もおり、その他の団体もできる限り公平に利用いただけるよう、工夫してほしい。
- (回答) 確かに老人会の利用は多いが、他の団体もたくさん利用されている。特別な事情がある場合を除き、利用申込は3か月前からでみんな同じである。
- (質問) 新たな取組としてはどのようなものがあるか。
- (回答) これまで地域コミュニティのハブとして機能しており、「ウエルカム・デー」の企画その他、オリンピックのパブリック・ビューイングや、夏休みクッキング、グループ交流などを考えている。
近辺が高齢化率の高い地区であり、利用者も8割が高齢者なので、これからは若者の利用を増やしたい。若い世代を対象にしたものを企画会議を立ち上げて行っていきたい。

(4) 各評価者の主な意見

- * これまで当センターの管理運営実績があり、毎年の合議における評価も良好である。地域に根ざした活動を続けてきており、住民からの信頼もある。
- * リリーフ・みのおは、併設された老人いこいの家の管理運営実績もあり、これに関する毎年の合議における評価も良好である。
- * リリーフ・みのおは、地域事情を踏まえ、高齢者が集う老人いこいの家のほか、「春のこどもカーニバル」「とどろぶち納涼盆踊り」などで広く各種団体とも連携しており、今後も引き続き地域コミュニティの増進が期待できる。
- * なお、指定管理者評価の利用者アンケートの他に、各講座の受講者アンケートを取るなどにより、若い世代を含めた市民ニーズをさらに把握するよう努められたい。

(5) 選定会議としての結論

応募書類、プレゼンテーション、ヒアリングに基づき評価をした結果、評価点数は下記のとおりとなった。

評価点数 194点 / 300点 (得点率65%)

上記点数に基づき判断した結果、リリーフ・みのおは箕面市立桜ヶ丘人權文化センター指定管理者の候補者として適任である。